

討論・意見交換にむけて

# プログラム

「標本データ準備と公開のためのノウハウ集」

1. 諸注意・趣旨説明【神保】
2. Zooniverse を用いたクラウドソーシングによる標本データ入力の紹介とデモ【海老原】
3. データ準備・発信における S-Net や GBIF のシステムの活用【神保】
4. 討論・意見交換

# 2022年4月 2つの節目

- 文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP) 第5期の開始
  - 分担機関の交代
  - 活動の拡大
- S-Netシステムの更新
  - ロゴマークもリニューアル



サイエンスミュージアム ネット  
Science Museum Net S-Net

# 2022年度 S-Net ダイジェスト

- データ収集
  - 各種マニュアルを更新
  - 約30万件のデータを提供いただいた
- データ公開・利用
  - S-Netからの公開数は690万件になった
  - S-Netデータを利用した論文数が1600報に達した
  - GBIF/ジャパンサーチへの提供データを更新
- 普及
  - S-Net研究会(39回・40回)を6月と2月に実施
  - JBIFとS-Netのリーフレットを更新中

# S-Netの活動方針

- 基本的に前期より継続実施
  - 標本データの集約・公開
  - S-Net研究会の年2回実施
- データの精度・情報量の向上を目指して
  - データ入力の参考となる資料の公開
  - 写真データの共有に向けた検討
- 外部連携の強化
  - ジャパンサーチとの連携など

# 自由討論・意見交換

議論の例:

- 今日の内容の感想
  - クラウドソーシングのシステムを使う際の問題点
  - 参加館向けの機能は使えるのか？
- S-Netに参加している上での悩み事
- S-Net全体への要望
  - これからどういう活動を期待しているか？  
(デジタルアーカイブ等)
  - どんなシステムの充実を期待しているか？